

防災訓練実行委員会通信 Vol. 1

平成30年7月2日発行／宮代町地域防災訓練実行委員会事務局

今年の地域防災訓練は、10月14日（日）、消防団第5分団、第6分団区域を対象として百間小学校を会場に行われます。実施にあたっては、町民、消防団、防災関係団体、消防署による実行委員会を立ち上げ、訓練が安全かつ効果的に行われるよう検討してまいります。

順次、実行委員会の様子を報告していきますので、多くの皆様の参加をお待ちしています。また、対象区域以外の方も参加できますのでよろしくお願いいたします。



(会議のようす)

実行委員会ってナニ？

○実行委員会の役割

防災訓練に一人でも多くの地域住民が参加し、安全に効果的な訓練が受けられるよう検討する組織です。

○実行委員会で検討すること

防災訓練の内容、地域住民の参加体制、関係団体の協力体制などを検討します。



実行委員会メンバー

平成30年度の実行委員会メンバーは以下のとおりです。（敬称略）

- ・東地区自主防災会 会長 岡村 信夫
- ・中寺地区自主防災会 会長 鈴木 誠治
- ・姫宮東団地地区自主防災会 会長 関根 章
- ・姫川一区自主防災会 会長 牧田 親典
- ・姫川二区自主防災会 会長 鬼山 清
- ・宮代町消防団 団長 伊草 稔
- ・宮代町消防団 副団長 谷島 栄二
- ・宮代町消防団 第5分団 分団長 並木 二郎
- ・宮代町消防団 第5分団 副分団長 鈴木 敏男
- ・宮代町消防団 第6分団 分団長 野口 秀一
- ・宮代町消防団 第6分団 副分団長 島村 忠雄
- ・宮代町アマチュア無線クラブ 会長 大高 誠治
- ・宮代町交通安全母の会 会長 関永 光枝
- ・宮代町赤十字奉仕団 委員長 長嶺 りつ子
- ・川端婦人防火クラブ 会長 根岸 よし子
- ・災害時支援隊 隊長 伊草 隆男
- ・災害時支援隊 班長 中森 靖雄
- ・宮代消防署 署長 名雲 幸夫
- ・宮代町社会福祉協議会 鬼久保 敦子

自主防災会の参加5団体は、宮代町消防団第5・第6分団区域の自主防災会19団体（東、中寺、西、前原、金原、山崎、宿、西原、西原団地、姫宮東団地、姫宮南団地、姫宮北団地、逆井、藤曽根、姫宮、姫川一、姫川二、川端、宮東）を代表して参加しています。

第1回実行委員会を開催

6月21日（木）午後6時30分から、埼玉東部消防組合宮代消防署の会議室において宮代町地域防災訓練 第1回実行委員会が開催されました。実行委員メンバー自己紹介の後、委員長及び副委員長の選出が行われ、防災訓練の内容、訓練種目について話し合いを行いました。



委員長：岡村 信夫 氏
（東地区自主防災会 会長）

「災害を乗り越えるには、一人ひとりの備えと、地域の協力が大切。地域防災訓練が防災について考えるきっかけになればいい。」



副委員長：鬼山 清 氏
（姫川二区自主防災会 会長）

「防災訓練を多くの方に参加していただき、無事に成功させたい。実行委員の皆さんと考えながら、実り有る訓練にしたい。」

宮代町地域防災訓練について

宮代町地域防災訓練の内容は次のとおりです。

■日時

平成30年10月14日（日） 午前8時～正午

※午前8時に防災行政無線で放送 ⇒ 各地で一時避難 ⇒ 訓練会場に集合

午前9時～開会式 ⇒ 開会式終了後、各種訓練を実施

■場所 宮代町立百間小学校（校庭・体育館）

※雨天の場合は体育館のみで実施



■訓練実施方法

- ・各種訓練を同時並行で行います。
- ・消防団広域防衛訓練、ヘリコプター救出訓練は個別に実施します。

■協力団体（予定）

- ・自衛隊、埼玉県防災航空隊、日本搜索救助犬協会、ボーイスカウト、NTT、東彩ガス、LPガス協会、電気工事工業組合 など

■防災訓練の運営

- ・宮代町地域防災訓練は、訓練会場に1,000人近い参加者が集まります。そこで、混乱と事故を防止し訓練をスムーズに運営するため、各地区が1回目に受講する訓練を指定しております。受講する訓練の内容は、訓練会場の受付で代表者にお知らせいたします。

■ヘリコプター救出訓練について

- ・今回の防災訓練は、ヘリコプター救出訓練を予定しております。ヘリコプター救出訓練は、校舎に取り残された被災者を想定して、校舎屋上から埼玉県防災航空隊のヘリコプターで救出する訓練となります。
- ・訓練時は、ヘリコプターから出る音や風などにより、歩行者や通行車両に影響を与える恐れがあるので、訓練場所周辺の安全を保持するため周辺の道路を通行止めになります。ご協力とご理解のほどよろしくお願いいたします。

【 交通規制図 】



※通行止めの時間

午前10時30分から
午前11時20分まで

※通行止めの道路

百間小学校周辺道路
(左図参照)

■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■
通行止めの道路

通行止めのお問合せ

宮代町役場
町民生活課 生活安全担当
電話 34 - 1111

訓練種目について

訓練の種目は、特別な技能や資格を有さなくてもできる訓練を実施します。日頃の訓練と同じ内容を取り入れ、繰り返し訓練することで、災害時はすぐ行動できるようにします。

No	訓練種目	No	訓練種目
1	発災通報連絡訓練・住民避難訓練 (地震発生を防災行政無線で知らせる訓練)	15	仮設水利によるホース延長訓練(校庭) (消火栓からホースを延長する訓練)
2	煙体験訓練(校庭) (煙体験ハウスで煙の怖さを体験)	16	ヘリコプター救出訓練(校庭) (校舎屋上の被災者をヘリコプターで救出)
3	救援物資搬送訓練(校庭) (物資が不足したときの救援要請)	17	消防団広域火災防御訓練(校庭) (延焼を拡大させないための放水訓練)
4	消火器消火訓練(校庭) (水消火器で消火器の正しい使い方を学ぶ)	18	炊出し訓練(校庭) (アルファ米とトン汁を配食する訓練)
5	要援護者救出・搬送訓練(校庭) (簡易担架を作り負傷者などを搬送)	19	ハイゼックス訓練(校庭) (ハイゼックス炊飯袋で非常時の炊飯を体験)
6	給水訓練(校庭) (町の車載用給水タンクで飲料水を給水)	20	車両展示(校庭) (消防や自衛隊の車両を見学)
7	バケツリレー訓練(校庭) (バケツリレーでチームワークを養う)	21	救命講習体験(体育館) (AEDを使い救命措置をする訓練)
8	捜索救助犬による救出訓練(校庭) (救助犬の役割や、犬のマナーを学ぶ)	22	応急手当訓練(体育館) (負傷者に対し三角巾などで応急手当)
9	仮設トイレ設営訓練(校庭) (災害時トイレが使えないときの対処法)	23	要援護者擬似体験(体育館) (擬似体験を通し要援護者への意識を高める)
10	ロープ結索訓練(校庭) (ロープの正しい結び方を学ぶ)	24	防災グッズ展示(体育館) (家庭でできる防災策を知る)
11	発電機操作訓練(校庭) (電力確保のため発電機の操作方法を学ぶ)	25	耐震診断相談会(体育館) (無料相談会で住宅の耐震化を促進)
12	イツモ防災(校庭) (誰でもできる身近な災害対応を学ぶ)	26	住宅防火関係(体育館) (自宅から出火させないための無料相談会)
13	土のう積み訓練(校庭) (土のうを積んで水害から家を守る訓練)	27	災害時伝言ダイヤル(体育館) (家族や職場との安否確認を体験)
14	簡易水防工法の訓練(校庭) (土のうが無いときの対処法)	28	災害写真展示(体育館) (写真を通して災害の恐ろしさを実感する)

【一言メモ】

「減災(げんさい)」とは、災害時において発生し得る被害を最小化するための取り組みです。



実行委員会でこんな意見が出ました

実行委員会では、防災訓練を安全かつ効果的に実施するため、これまでの訓練を見直したり課題を話し合ったりします。その中で出た意見をご紹介します。ここで出た意見は、訓練に反映できるように実行委員会で検討します。

- ・ヘリコプター救出訓練の搬送先が変わってしまい、搬送先の安全員と交信員の確保が必要になる。
- ・地域防災訓練に参加する町職員の数が少ない。災害が起きたら町職員が中心となり活動するのに、町職員の参加者がこんなに少なくて大丈夫なのか。
- ・町職員は外見で分かるよう水色のベストを着用して参加している。
- ・訓練も大切だが街の消火器をもっと増やすべき。各班に消火器があってもよい。
- ・初期消火は大切だが、手遅れになる前に119番することを推奨する。
- ・初期消火のため地域で備えるというより、自助の観点から各人で備えなければならないこと。
- ・一人ひとりが備えることは当然である。自助の考えに賛成する。
- ・救援物資搬送訓練は、協定を結んでいる新しい村と実施することを考えている。
- ・予定する訓練種目を全て行う予定。しかし、雨天は体育館のみの訓練なので種目も限られる。

どうして地域防災訓練をやるのか？ 障害物競走に例えてみました。

防災（未然に防ぐ）

減災（被害を最小限）

地域防災訓練には二つの要素（防災と減災）があります。色々な訓練を体験して、災害に備える基礎を学びます。



跳び箱の高さ（地震や災害の大きさ）が高いほど乗り越えるのが困難になる。これを如何にして乗り越えるか。。減災だけでなく防災も大切。防災をしっかりしないと乗り越えられません。

「防災」的な訓練

- ・土のう積み訓練
- ・簡易水防工法の訓練
- ・要援護者擬似体験
- ・イツモ防災
- ・防災グッズ展示
- ・耐震診断相談会
- ・住宅防火関係 など

震度 7

震度 5

震度 3

震度 1

災害発生

「減災」的な訓練

- ・住民避難訓練
- ・消火器消火訓練
- ・要援護者救出、搬送訓練
- ・パケツリレー訓練
- ・仮設水利のホース延長訓練
- ・救命講習体験
- ・応急手当訓練 など

一昨年度の実施状況 会場：須賀小学校



炊出し訓練の準備



須賀小学校で行われた防災訓練は、雨のため体育館のみの訓練となりましたが、778名というたくさんの方が参加しました。



要援護者擬似体験



炊出し訓練



ロープ結索訓練



救命講習体験

～ 第5・第6分団区域の自主防災会のみなさまへ！！ ～

①防災訓練運営スタッフの参加について

地域防災訓練では、地域と各防災団体の連携をより一層図ることを目的とし、第5・第6分団区域の自主防災会に運営スタッフとして携わっていただきます。携わる訓練種目と人数は、第2回実行委員会で決まり次第お知らせします。

ご協力とご理解のほど、よろしくお願いいたします。

②自主防災会対象の防災訓練事前説明会について

第5・第6分団区域の自主防災会長を対象に、防災訓練の事前説明会を9月1日(土)に開催します。その際、運営スタッフとして担当する訓練種目の選定をおこないます。町主催の防災講演会終了後となりますので、講演会への参加も併せてお願いします。

【第5分団区域の自主防災会】

東、中寺、西、前原、金原、山崎、宿、西原、西原団地、姫宮東、姫宮南、姫宮北、逆井

【第6分団区域の自主防災会】

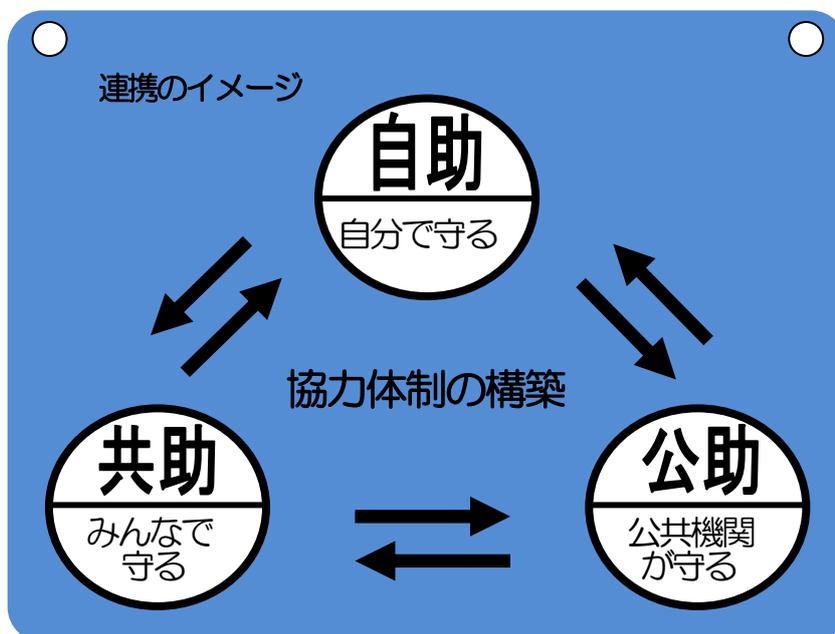
藤曽根、姫宮、姫川一、姫川二、川端、宮東

事務局から

災害のとき被害を最小限に抑えるには、日頃の備えと自助・共助・公助の連携がとても大切です。地域防災訓練は様々な役割を各団体や組織が担い、連携した効果的な訓練を心掛けています。

今年の6月18日、大阪で震度6弱の大地震が発生しました。1995年に発生した阪神・淡路大震災から23年しか経っていません。倒れたビルと焼け野原になった街、誰もがあの悲惨な光景を思い出し、なぜまた?と思ったことでしょう。日本にはプレートや断層がたくさんあり、こうした大地震は予測とは関係なく、いつでも発生する可能性があることが分かりました。

今年度は消防団第5・第6分団区域で行います。日頃の備えとして、地域防災訓練にご参加いただけるようお願いします。力を合わせて頑張りましょう。



ご不明な点がございましたら事務局までご連絡ください。

防災訓練実行委員会 事務局

【電話】

0480-34-1111

(内線277)

【Email】

anshin@town.miyashiro.saitama.jp